

Gikai

思いやりが試される時...

1人ひとりの自粛と協力が



新型コロナウイルスに**打ち勝つカギ**になります!!

STOP
CORONAVIRUS

※表紙説明は裏面にあります。

- 令和2年度予算 … 2
- 第1回定例会報告 … 8
- 委員会レポート … 11
- 特集〔学校給食センター〕 … 12
- 一般質問は12人が登壇 … 14

葉山町議会



可決

2020年「新たな防災」 テーマは

	若者・壮年	シルバー世代
を助成	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人間ドック脳ドック助成(75才まで) 240万円 ■ ⑧産後ケア・妊婦健康診査 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各種予防接種の実施 インフルエンザ 1,948万円 肺炎球菌 211万円 ■ 在宅福祉サービス 375万円 ■ 一般介護予防事業(介護保健特別会計) 1,140万円
ントを	<ul style="list-style-type: none"> ■ 男女共同参画推進事業 ⑨男女共同参画プランはやま(第4次)策定 13万円 ■ 図書館資料整備事業 865万円 一般図書のみでなく、雑誌・新聞、視聴覚資料や地域資料の充実(ブックトラック購入など) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 老人クラブ(15団体)老人クラブ連合会補助金 68万円 円滑な運営の促進、会員の生きがい対策の支援 ■ ねんりんふれあい集い 81万円 参加者による演芸会を行うことにより、交流の促進や気力の増進と生涯教育の普及を目指す 
対策とし	<ul style="list-style-type: none"> ■ 里山魅力創造事業 231万円 町の魅力を高め、認識し、発信する ■ ⑩旧役場前バス停上屋の設計及び建設工事 葉山にふさわしい趣のある上屋の整備  <p>旧役場前バス停</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 住宅改修費助成 80万円 在宅高齢者の住宅改修に対する助成(10万円×8件分) ■ 葉山町シルバー人材センター補助金 706万円
通学路	<ul style="list-style-type: none"> ■ ⑪消防ポンプ自動車購入費 4,534万円 ■ ⑫消防団活動費 456万円  <p>消防団活動風景</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ⑬外出支援事業の拡充(介護保険特別会計) 720万円 京急ふれあいバス購入費助成単価の引き上げ(3000円に)及び運転免許証自主返納者への助成(初回のみ3000円上乗せ)  <p>京急ふれあいバス</p>
センター	<ul style="list-style-type: none"> ■ ⑭障害者基幹相談センター事業 761万円 障がい者(児)等が、自立した日常生活または社会生活が営めるよう、地域生活支援拠点の機能を担う業務を行う ■ ⑮みんなの公共施設 未来プロジェクト 2,024万円 公共施設の老朽化対策や長寿命化・多機能化、統廃合の検討に向け見直しを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ⑯街路整備事業 3,250万円 都市計画道路向原森戸線整備に伴う用地購入費(財政的理由により4分の1)、測量及び実施設計を行う  <p>向原森戸線整備用地</p>

一般会計予算

賛成
9

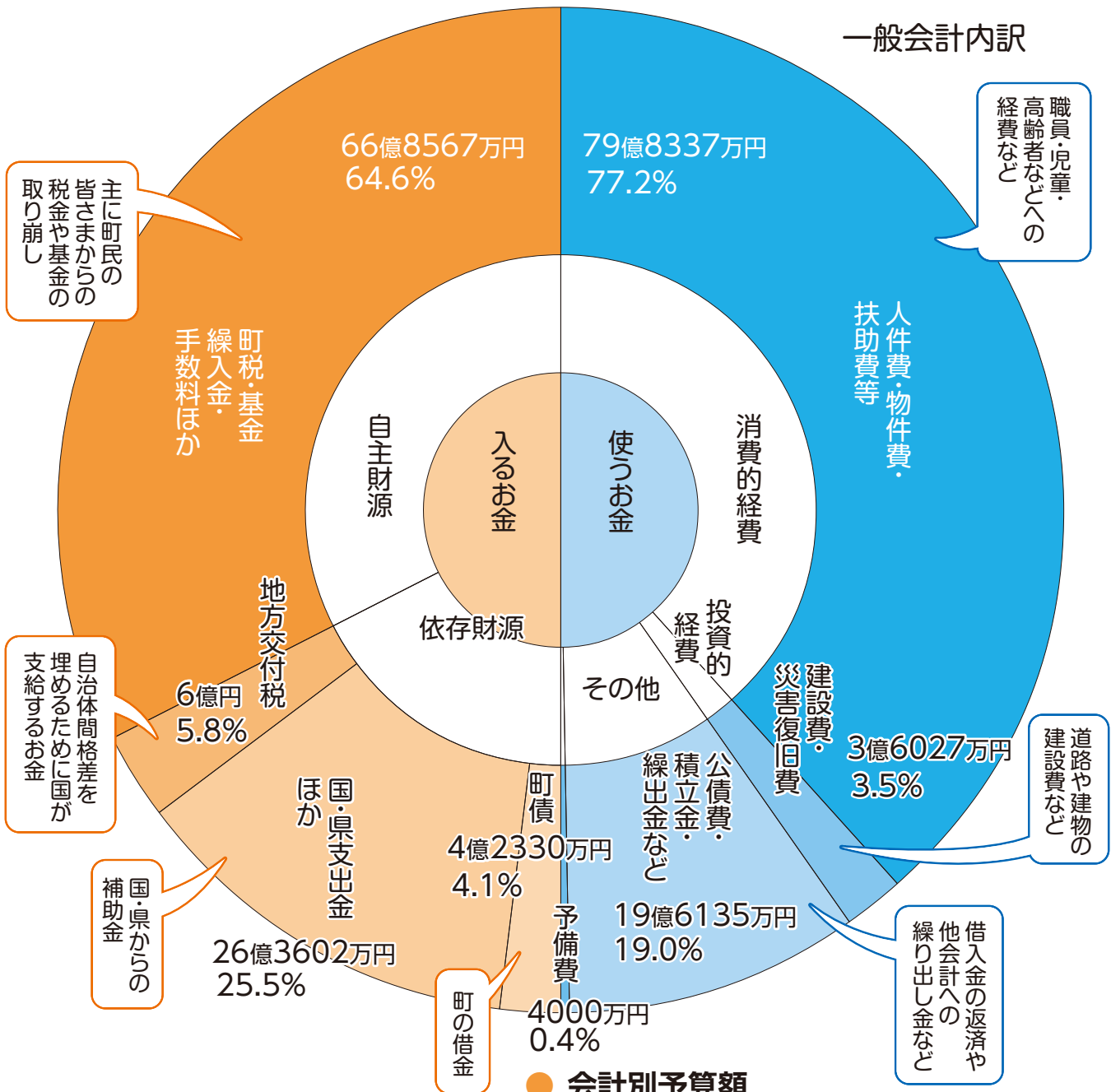
反対
4

で

世代別 ↓ 分野別	幼児	児童・生徒
保健・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ● ① 新生児聴覚検査 ● ① 病後児保育 ● 各種予防接種の実施 ● ① ロタウイルス 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高校生奨学金 300万円 経済的に困難な世帯を支援するため月額5000円 ■ 教育相談事業 364万円 小・中学校への相談員や①発達及び不登校に関する支援の充実のため臨床心理士等を配置する  <p>教育支援教室「や</p>
教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 幼稚園運営補助 213万円 町内幼稚園の運営経費及び障害児・たんぽぽ教室通園児・3歳児を積極的に受け入れる園に対する補助金 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 青少年育成事業 Night sky Tours ～星空観察～の開催 6万円 令和元年8月の中高生議会 村田颯香議員の提案が実現しました。  <p>星空観測のイベント さやか 村田 颯香さん 業山の アピールを!! 発表時</p>
産業・建設	<ul style="list-style-type: none"> ■ ① 公園遊具新設工事(2公園) 490万円 町内会等、町民の声を聞き遊具を選択  <p>イトーピア児童遊園</p>  <p>すみれ公園</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ① 学校給食センター整備 5,100万円 中学校の完全給食と小学校給食調理室の老朽化対策として給食センターの整備工事(設計施工一括)を行う ■ ① トイレ改修事業化支援業務委託(小・中6校)
生活・環境	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子育て支援センター運営管理 2,374万円 ■ ファミリーサポート利用助成 12万円  <p>子育て支援センター「ほけっと」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ① 南郷中通学路改善事業 147万円 通学路の変更と路面の補修、照明の設置、枝払い等  <p>南郷中</p>
町民生活	<ul style="list-style-type: none"> ■ ① 防災関連資機材備蓄食料整備事業 避難所用女性更衣室・授乳室用テント・ロールマット・携帯電話充電器等の購入 ■ ① 災害対策本部用パソコン購入 68万円 ■ ① ビッグレスキューかながわ 139万円 県・町合同総合防災訓練の実施  <p>避難所の様子</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ① 生ごみ分別収集協力金 40万円 生ごみのみの分別収集とする実証実験を行う。10月より実験開始予定。協力町内会への協力金 ■ ① クリーンセンター 再整備工事支援業務委託 1,242万円 既存施設を解体し、廃棄物中間処理施設及び資源化処理施設等の整備  <p>クリーン</p>

一般会計予算103億4500万円 (前年比プラス2.6%)

一般会計内訳



● 会計別予算額

特別会計	国民健康保険	33億 9677万円
	後期高齢者医療	10億 9620万円
	介護保険	30億 0002万円
合計		74億 9299万円
下水道事会計	収益的支出	11億 3246万円
	資本的支出	11億 1333万円
合計		22億 4579万円

予算特別委員会審査報告

荒井直彦委員長、窪田美樹副委員長、中村和雄、伊藤航平、石岡実成、金崎ひさ、待寺真司の各委員が審査を行い、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計及び下水道事業会計は全会一致で、一般会計予算及び後期高齢者医療特別会計は、賛成多数で可決しました。

※詳細は町ホームページ「財政・財産」からご覧いただけます。



町長・教育長 質問

学校給食センター

整備に対する決意

問 町長の決意を聞く。

答 合理的な判断基準があり、その上で責任ある議決権の行使もして頂きたい。
(P12に関連記事)

学校トイレ改修事業の今後

問 改修が必要なところから行うのか。

教育長 先行して整備を進められるよう、基本計画策定を目指す。

町長 教育委員会で議論した内容を受け止め、サポートしていく。

葉山の魅力創生・

発信事業

問 3つの団体に50万円ずつ補助しているが。

答 補助ではなく、委託している。各団体で事業を回すことが地方創生の本旨であるため、

特別
委員会
の
動画



委託事業を発注しながら、自走方式をとっていただきたい。

問 里山に対し、インフラ整備をする将来的ビジョンを持っているのか。

答 トイレと水と電気の3点について、今後対応する。

問 委員会等を立ち上げるのか。

答 時期を見て、葉山の里山を考える会を設置し、魅力創出の継続の方針を定めたい。



秘密基地のツリーハウス

公衆トイレの改修

問 洋式トイレの在り方をFM会議（ファシリテーターマネジメント会議）の中で検討して行くのか。

答 現状維持で特に問題はない。



みそぎ橋公衆トイレ

観光施策の推進

問 観光施策を更に強力に進めていく考えは。

答 観光協会のあり方の協議を進め、形にする。

保育士及び介護従

事者の人材確保

問 逗子市では保育士不足を補うため、市長独自に打ち出した政策があるが。

答 逗子市と情報交換をし、今後の研究課題としたい。

災害時要援護者に対する避難支援のあり方

問 台風19号では避難できなかった人がいたと聞く。課題解消のため、更に踏み込んでいけるのか。

答 課題の重さは重々承知しているが、町だけでは立ち行かない課題がある。

空家等対策推進事業

問 進んでいる自治体は、いろいろな制度を設けているが。

答 令和3年度にしっかりと推進する。

問 逗子市は、空家バンクを開設してホームページに掲載しているが。

答 2年度中にホームページを更新し、具体的な行動に変えていく。

姉妹都市交流の今

問 交流は年に一度のクリスマスカードの交換だけなのか。

答 お互いに資金の面が課題だが、時期を見て交流の在り方と向き合うべきと考える。

問 基本計画では認知度100%

を目指しているが達成していない。後期基本計画を見直す年度であり、何らかの方向性を出すべきでは。

答 オーストラリアのホールドファストベイ市の意向も聞き、判断したい。

稼ぐ行政

(臨御橋架け替え事業)

問 寄附金が目標に達しなかった場合、財政負担をするのか。

答 橋の必要性が非常に高いという認識の上で、町が行わなければならない事業と考える。現状と同じようなデザイン・構造の橋を予定している。



臨御橋

職員自主研究グループ

問 施政方針に掲げている自主研究グループの活動は。

答 業務としての調査を行っている職員もいる。今後、研究グループを活性化させたい。

8人が質問しました



人を育てる

教育環境の整備

待寺 学校トイレ改修は、公
共施設整備計画に先行して早
急に取り組むのか。

部長 基礎となる仕様書を定
め、秋頃に基本計画を策定し
概算費用を算出する。3年度
の工事開始に間に合わせる。

飯山 給食センター推進にあ
たり、エビデンスとして考え
たものは。

町長 覚書更新を進めるなど、
一連の約束事項を背景として
いる。

窪田 給食センター通勤道路
は擁壁から外れ土砂災害特別
警戒区域の中にある。安全対
策と費用は。

参事 必要な範囲には落石防
止ネットも考慮し、事業者負
担で施工する。

石岡 町費教員や支援員配置
の予算が削減されているが、
その背景は。

教育長 新学習指導要領のも
と、県費で1人増員となった
ためだが、水準が下がった訳
ではない。

子育て支援

鈴木 新規国庫補助の新生児
聴覚検査とは。

部長 誕生した病院で行なう。
現在、障害者手帳を持つ未就
学児は4人いる。

鈴木 多胎児家庭への支援も
必要だが状況は。

近藤 未就学で12組いる。
子どもが生まれると国
民健康保険料が2万円上がる

均等割の現制度を、大井町や
中井町のように子育て支援の
立場から見直すべきでは。
町長 しばらく現行の方策で
いく。

暮らしを守る

新型コロナウイルス

飯山 対策本部は相談窓口か。
部長 町には窓口はなく、県
主導で鎌倉保健福祉事務所を
紹介する。

石岡 情報発信を近隣自治体
と足並みを揃えるべきでは。
部長 いろいろ不安を抱かせ
た町民の方に対しては反省し
ているが、不確定な情報を流
したくないという思いもあっ
た。

鈴木 町として自主的に、で
きる範囲の対応を発信すべき
であったと考えるがどうか。

町長 簡易な情報でも発信す
べきであったと反省している。

災害対策

飯山 ペット同行避難に言及
しているが、方針は。

部長 避難所運営委員会で検
討中だ。一般の避難所内へペ
ット同行は困難だが、安心し
て過ごせる場所の設定は必須
と考えている。

土佐 海岸域の津波情報はオ
レンジ旗ではなく、気象庁が
発表した国際信号旗U旗を使
用するのか。

部長 全国で統一されるので、
町においても参加する必要が
ある。

土佐 U旗は一般的ではない
が、周知の仕方は。
部長 津波の危険性を知らせ
る旗だということを、あらゆ
る手段を使う。



緊急避難フラッグ「U旗」

窪田 レベル4の避難勧告に
要支援者が避難しきれなかつ
た。地域福祉支援システム導
入で改善されるのか。ケアプ

ランのような個別計画の必要
は。
部長 避難行動要支援対象者
は3千人弱。福祉課と連携し
ているが行動を把握しきれて
いない。個別計画策定は難し
くシステム管理の中で進めた
い。

近藤 消防庁から消防団の強
化が要請され、報酬は交付税
基準の3万6千5百円の支払
いが求められ、葉山は3万2
千円。引き上げるべきでは。
消防長 出動手当は引き上げ
た。報酬の要求は出ていない。

8050問題

鈴木 8050問題の引きこ
もりの状況はどうか。
部長 正確な把握はないが、
最近3件あった。

地球温暖化対策

近藤 電気自動車の購入補助
制度が創設され、一定の評価
はするが町独自の取り組みが
ないが。

町長 今後の建築物には太陽
光パネルも検討する。

活力を創造する

葉山の里山

近藤 葉山魅力創造事業として里山整備が行われている。民間のボランティアで同様の活動を行っている団体へ予算措置は。

町長 2年度、葉山の里山について場をつくる。

安全対策

待寺 急傾斜地崩壊対策工事予算が、例年並みの計上だ。神奈川県に予算増額を要望すべきだが。

町長 県が水防戦略を定める中で、急傾斜・土砂災害に関する工事の積極性が明記されており、機会を捉えて要望していく。

飯山 向原森戸線の歩行者安全対策は。

部長 2年度を目途に、舗装による表示対策を取る考えだ。**鈴木** 無電柱化について国予算もあるが、具体的エリアの議論はどうか。

町長 多額で、今すぐではな

いが緊急輸送路からの計画と考えている。

窪田 海岸通一帯にかけ、自転車道矢羽根型路面標示がひかれている。安全面に配慮しているのか。

部長 県事業で詳細は把握していない。海を見ながらのルートと聞く。一定の効果はあると思う。



矢羽根型路面標示

みんなのでつくる

安全対策

待寺 特に力を入れた事業や予算編成で注目すべき事業について伺う。

町長 重点を置いたのは防災だ。ソフト面の充実を図る中で、必要な資機材を順次整備していく。

教育長 施設整備面では学校給食センターの基本設計に入る。環境面では統合型校務支援システムを全校に導入し、働き方改革を進めつつ、教育内容の改革にも取り組む。

笠原 予算編成方針は平成30年度決算を踏まえ、内部調整後に町長の政策課題を盛り込み、議会に提示の理解で良いか。

町長 その通りだ。**笠原** 新型コロナウイルス問題や逗子市の崩落事故は、議案提案後だが、緊急補正案も考え得るといふ理解でいいか。

部長 県や国の通知等から、補正予算等はある得る。

行政運営

石岡 町長施政方針のテーマにある「対話」の、これからの予定は。

町長 先ずは全職員と対話をし、タウンミーティングでは公共施設に関して対話をしていきたい。

石岡 「今すぐ住みたい町」にするためにも、美しい色彩・景観が必要では。

参事 町民との相互理解の上で成り立つものであり、対話を重ねていくことが必要だ。

飯山 人口が3万3千人を割った。懸念点は。**町長** 空き家が長期間放置されることだけは避けたい。背景の問題もはらんだ対策をしたい。

笠原 町のホームページの町長挨拶は、PR的で町民よりも、来町者を優先している感じだ。本来首長は、住民のことを一義に考えるべきで、施政方針でも、そこに目が向いている印象だが。

町長 今、指摘され気づいた。挨拶文は早急に更新したい。また、町民の方々がこの町で楽しみ、休日を通り過ぎようと発言し、町外の方にも、その姿を見てもらいたいと考える。

はやまクリーンプログラム

土佐 公共施設でペットボトルの販売を中止して、ウォータースタンドの設置をした。町内の飲食店などで、給水スポットの登録が多く見られる。役場なども登録すべきでは。

部長 魅力の最大化にもつながり、検討したい。

土佐 気候非常事態宣言を前向きに進めるのか。**町長** 前向きに進める。タイミング等検討したい。

鈴木 「気候非常事態宣言」は、三浦半島一帯としても葉山町から提案し、宣言すべきだがどうか。

町長 宣言に向けて動く。**土佐** 7月からレジ袋の有料化が義務づけられる。ごみの出し方を心配されている方が多いが。

部長 袋の研究など、引き続き鋭意努力する。**窪田** 環境配慮行動とし、庁舎内の便座を閉める等、身近な節電も重要では。

部長 環境配慮に務める。



レジ袋いりません

第1回定例会

2月13日から3月18日まで開催しました。
議案や陳情などを審査しました。

葉山町一般会計補正予算 (第6号)

歳入

個人町民税 (△9千万円)
当初見込みに比べ低額となることに伴う減額。

主な質疑

問 現年課税分が9千万円の大きな減額だが、要因は。

答 平成28年度から6〜7千万円程度増額が続いたため、過大に見積もっていた。

民生費国庫負担金

(1752万円)

教育費国庫補助金

(2503万円)

学校給食センター整備工事に対し交付される。

市町村自治基盤強化総合補助金
(3193万円)

逗子市との連携事業(生ごみ資源化処理、可燃ごみ焼却処理、容器包装プラスチック処理)に対して交付される。

一般寄附金 (2千万円)

総務費寄附金 (2400万円)

臨御橋架け替え事業寄附金

財政調整基金繰入金 (1千万円)

ふるさと葉山みどり基金繰入金 (1千万円)

町有緑地法面防護工事のため繰入れる。

歳出

発達障害児等支援推進事業 (450万円)

放課後等デイサービス利用回数増加に伴う扶助費の増額。

主な質疑

問 同じ方の回数が増えたのか、利用者が増えたのか。

答 利用の回数が増えた。

教育・保育給付支給事業 (350万円)

民間保育所等施設整備費補金

主な質疑

問 風の子保育園の設計図だと更衣室が1つしかない。今後、男性の職員が入ってきたらどうするのか。

答 現在は女性だけであり、事業者の方で工夫してもらおう。



新設される風の子保育園

今定例会の大まかな流れ

補正予算6号行政提案
動議

修正案の提案 近藤

提案者への質疑

討論
原案に賛成
笠原、待寺、鈴木、伊藤
修正案に賛成
金崎、窪田、中村、山田

採決 修正案否決、原案可決
附帯決議 提案 近藤

質疑

討論
賛成 窪田
反対 金崎、待寺
採決 否決

葉山町一般会計補正予算(第6号)に対する修正案(議員提案)

学校給食センター整備に事業に対する予算を全額削除するもの。

提案説明

(近藤)

土砂災害警戒特別区域であり、安全・安心のために万全を期さなければいけないが、覚書は矛盾した内容であり、法的拘束力のある覚書なり契約書を交わして再提案をすべき。

提案者への主な質疑

問 国庫補助金が入ってくる事業であり予算凍結をすることによって国庫補助金の流れがどうなるのか調査はされたか。

答 専門家ではないので、詳細な調査は行っていない。

原案に対する賛成討論

(笠原・待寺・鈴木・伊藤)



・レッドゾーンと言われながらも、建物を建てることによつて地域の安全が確保できるメリットもある。

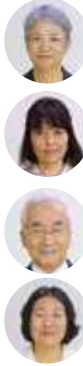
・県、事業者、町、この3者が一体となって安全性を担

保する話し合いがしつかりとなされている。

- ・センター方式にすることで削減できた財源で、調味料や食材をワンランク上の物を使って美味しい安全な給食を提供して欲しい。同時に町民の食育にも資する、給食センターの実現を切に望む。
- ・これからも逗子市の事故等も踏まえ安全性については一層の準備を怠りなく進めていただくことを希望する。
- ・葉山町のような小さな面積の中で、リスクのない立地を探すことは困難である。東日本大震災の復興状況を見ても、やむを得ず公共施設を建てるのが現状で、どうしたら建つのかを考えるべき。公共ライフラインの接続はどこでも容易にできるわけではない。今のところたどり着いたのは、想像すると本当によく見つかったと思う。

修正案に対する賛成討論

(金崎・窪田・中村・山田)



・その場で働く職員の同意も得ていない状況で計画をしている、町長の発言を信じるわけにはいかない。

・進入路の安全性は万全なのか。町民への周知はどのように行われたか。小学校保護者から、意見交換会や十分な説明がないまま本会議での重要な決定がなされることに不安を感じている声がある。

・整備方針のパブリックコメントを行うべきではないか。

・今後の長期修繕更新計画費の総額は265億円。公共施設計画予算配分のバランスも考えれば、給食センターの総額も念頭に入れておくべき。

・土砂災害警戒区域の指定は決してあまく見てはならない。事業者とはさらに安全性の確保に向けて、緊密な話し合いを持つべき。納得のいく覚書を見ないことに

はゴーサインを出すことはできない。

葉山町一般会計補正予算(第6号)に対する附帯決議 (議員提案)

提案説明 (近藤)



地権者と施工についての法的な根拠のある文書を交わすまで当該予算の執行の凍結を求める。

提案者への主な質疑

問 覚書の改正、修正ではないのか。

答 新たな合意文書を妥当なものか判断するかは後の議論。法的な根拠のある合意文書を交わすまでというつもりだ。

附帯決議に対する反対討論

(金崎・待寺)



・新たな合意文書の内容が見えてこない。改正なら賛成しやすかった。

・時間的余裕があるというが、令和2年度の予算審議が始まる、そこまでの間に形は示してもらわないと厳しい状況を迫られる。

附帯決議に対する賛成討論

(窪田)



町長との覚書、合意文書が交わされるのがいつになるかわからない中で不安が残る。

学校給食センター整備事業 特集ページ P12

消防団条例の一部を改正する条例

消防団の定数の内訳及び出勤に係る費用弁償の額を改めるとともに、消防団に本団部長を置き、その任期並びに報酬及び費用弁償の額を定める。

主な質疑

問 本団部長の役割はどのような役割を負うもので、メリットは。

答 団長、副団長の下に本団部長を6人置き、平常時は庶務、訓練部、支援部の形で各部長の3人、残り3人は各分団の上について分団長のサポート役の職務につく。

問 本団部長も分団と一緒に現場で活動するのか。

答 災害によって異なるが、大きな災害で安全管理、物品の支援で分団のサポートをする。

問 本団部長の選任方法は。

答 分団長経験者、または10年以上の分団経験者だ。

問 唐突に組織改編が行われたが、近隣の消防団もこのような組織構成になっているのか。

答 三浦半島に関しては本部長という形で置いている。



辞令交付

葉山町一般会計補正予算
(第7号)

歳入

商工費県補助金

神奈川中小企業・小規模企業
業復旧支援事業費補助金
(1900万円)

主な質疑

問 1900万円という額は、
中小企業の状況や加盟社数な
どをもとに算出したものか。

答 県の調査に基づき、算出
した金額プラスアルファだ。

問 その金額が上限なのか。

答 不足した場合、追加して
要求していく。

教育費寄附金
(1千万円)



主な質疑

問 給食センターへの寄付か。
答 給食センターの設備に対
する経費として充てる。

財政調整基金繰入金

(3千万円)

歳出

法規訟務経費

損害賠償金(2928万円)

代理人弁護士報酬(84万円)

葉山保育園内で発生した児
童の転倒死亡事案の和解に伴
う損害賠償金及び弁護士報酬

副町長の選任

小野淳^{ノノ}氏を全会一致で同意
しました。



副町長

本会議における令和2年度の予算審議結果

中村和雄、山田由美、金崎ひさ、鈴木道子、土佐洋子、窪田美樹、待寺真司の各議員が討論を行いました。

主な討論内容

賛成

一般会計

■学校給食センター建設事業

- ・節目節目での確認を行ってほしい。
- ・町と土地提供者がウィン・ウィンの事業となるよう求める。
- ・総合的食育センターを目指してほしい。

■防災関連事業に力を入れている。

■遺贈寄付事業に取り組んでいる。

■持続可能な町政運営への職員の努力が見える。

■超低金利の臨時財政対策債の更なる活用を。

国民健康保険特別会計

■保険料抑制に取り組んでいる。

■短期証・資格証への対応改善が見られる。

後期高齢者医療特別会計

■国へ均等割の軽減を求めてほしい。

介護保険特別会計

■京急ふれあいパス購入費補助の事業会計を 移し拡充している。

下水道事業会計

■下山口地域の敷設工事が順調に進捗している。

■200件の接続も目指し使用料も見込んでいる。

反対

一般会計

■学校給食センター建設事業

- ・新たに出された覚書でも土砂災害特別警戒区域解除への行程が見えず、事業者が撤退した場合の条件も分からない。
- ・議員として責任がとれない。
- ・土砂災害特別警戒区域への公共施設建設を認めることはできない。
- ・16億円を超える事業であり、住民周知が不足している。

■地域福祉支援システム導入は、災害時の支援に繋がるよう要望する。

後期高齢者医療特別会計

■収入の少ない75歳以上だけで制度運営を する制度に問題がある。

■医療費負担割合が引き上げられている。

下水道事業会計

■インフラ拡大は最低限にとどめ、都市計画 税の範囲内での事業を行うべき。

可決

◎一般会計	賛成多数
◎国民健康保険特別会計	全会一致
◎後期高齢者医療特別会計	賛成多数
◎介護保険特別会計	全会一致
◎下水道事業会計	賛成多数

皆さまから寄せられた **請願・陳情** の審査 さまざまな、町の **問題・課題** の改善、対策

委員会レポート

各委員会では、それぞれ課題やテーマを掲げ調査・研究にも取り組んでいます。 Committee report



総務建設

日本政府に習近平主席の
国賓来日の撤回を求める
意見書提出に関する陳情

中国の国家主席の来日は、
新型コロナウイルスの影響も
あり懸念がある。ついでには、
来日自体の撤回を求めるよう、
国に対して意見書の提出を求
めているものです。

審査結果

委員から「国賓待遇での来
日は国家レベルの問題で、地
方議会で扱うことにはそぐわ
ない」「国家レベルの問題で
も意見書を提出することはあ
る。日本政府が国賓待遇で招
く方に反対することは、国家
主席に対して失礼ではないか
」との意見でまとまり、採決
の結果、賛成なしで不採択と
しました。

委員長 飯山直樹



教育民生

所管事務調査

2市1町ごみ処理広域化
実施計画(素案)のパブリ
ックコメントに関する経
過報告について

パブリックコメント後、2市
1町の首長が会し、素案につ
いての確認を行い「鎌倉市・
逗子市・葉山町ごみ処理広域
化検討協議会」に諮り、正式
な実施計画として公表する予
定とのことです。

生ごみ分別収集の実証実験について

対象エリアは概ね80世帯3町
内(自治)会程度を設定し、
10月より実験をスタートする
予定とのことです。

下水道事業建設改良費の 進捗について

葉山浄化センターの耐震化工
事は、令和2年12月25日まで
の工期で進めたい。
下山口地区管渠整備事業に
ついては、契約締結を行った

内容で、令和元年度から4年
度までを計画している。継続
費として12億円議決されてい
る。

委員長 鈴木道子

議会運営

第1回定例会において、新
型コロナウイルス感染症の感
染予防のため、議会・委員会
のインターネット中継等の利
用をお願いし、傍聴は遠慮し
ていただくこととしました。

委員長 笠原俊一

総合計画特別

後期基本計画策定に際し ての町の基本的な考え方

・基本構想については変更し
ない。ただし将来人口予測
の令和6年度の数値は若干
高くなる。

・基本計画書の構成は変更し
ない。ただし基本施策で
は、第三次葉山町教育総プ
ランの策定と連動して、学
校教育の充実に関する基本
施策は、細分化した施策に
変更する予定。その他、ま

ちづくり指標や協働ででき
ることなどは、必要に応じ
て見直す。

・計画期間中に新たに実施す
る大規模事業(給食センタ
ー建設など)について掲載
を検討する。

・町民アンケートの実施は4
月中を予定し、15歳以上1
500人、年齢階層・性別・
居住地が偏らないよう配慮
し、無作為抽出とする。
議会としては、町民アンケ
ートが反映されるように注視
していきます。

委員長 待寺真司

ICT化推進チーム

議会改革

中継設備等については導入
後10年以上が経過しており、
機器の寿命から入替え時期で
あること、個別の対応では費
用がかさむこと等を勘案し、
設備の入替えを念頭に令和3
年度の予算案に提案すべく、
業者からの見積等を進めるこ
ととなりました。

リーダー 飯山直樹

特集

学校給食センター 整備事業の今…

「設計施工一括発注」予算案が**賛成7 反対6**の僅差で可決

長年の懸案事項であった中学校給食の実現に向けて、老朽化した現在の小学校4校の給食室を含め“センター化”にするという整備方針がようやくまとまりつつある中…

これまでの概要

議会が紛糾したのは**何故**なのか？



全国9割の公立中学校が完全給食を実施している中、いまだにミルク給食のみの葉山町。保護者アンケートを実施し“安全で安心な給食の提供”をコンセプトに、さまざまな角度から分析し、出した結論が「センター方式」での実施。そう動き出したのは2015年。

当初の予定地は上山口小学校旧校舎地だったが、周辺道路が狭く近隣の住民から反対の声があがった。これを受けて2016年には葉山中学校の駐車場法面を候補地として構想をまとめるも、造成工事の費用がかさみ総工費が19億円になるという事が判明。2018年度第1回定例会で当初予算案に盛り込まれていた関連予算を、全額予備費とする議会修正案が可決され、計画は事実上とん挫し候補地は白紙の状態。

新たなプラン

建設予定地は長柄の民有地
土地は所有者より無償提供



給食センター予定地が、民間企業との提携で進めるという新たな整備方針により、学校給食センター本来の在り方を議論する以前の問題に…

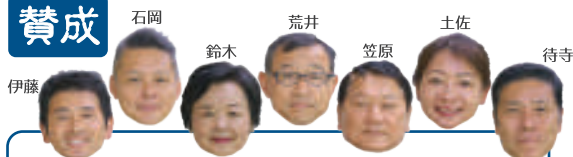


争点は
2つ

候補地は土砂災害(土石流)特別警戒区域(レッドゾーン)!!

土地寄贈者との覚書を信じていいのか？

賛成



- ・レッドゾーンに建物を建てることによって地域の安全性が確保できるメリットがある。
- ・土地寄贈者、県、町と3者での協議がしっかり成されている。
- ・現在の給食室の老朽化でこのまま継続するのは不安が多過ぎる。
- ・町の土地事情の現実を考慮すれば、よくここまで辿り着いたと思う。
- ・中学校給食の実現は、長年保護者からも切望されている事業であり、早期実現に向けて、施設の多機能化や給食そのものの安全性や充実性などを含めたソフト面の議論を高めていくべきだ。

賛成7 反対6 で可決



反対



- ・その場で働く職員の同意もない状況で計画を進めている。町長の発言を信じる訳にはいかない。
- ・町民や児童生徒の保護者から、安全性や進め方に不安の声がある。意見交換会や十分な説明会がないままで決定するべきではないと思う。
- ・土砂災害特別警戒区域を解除してから、計画を進めるべきだ。
- ・覚書の内容に不確定要素があり、万が一履行されなかった場合の条件が曖昧だ。このままGOサインを出すことはできない。
- ・人口減少傾向を踏まえつつ、公共施設計画にもしっかり反映させたプランにすべきだ。

全議員共通の想いは… 設計施工計画案並びにこれから出される具体的な建設費等をしっかりと分析し“町民に喜ばれる給食センター”の実現に向けて判断していきます!!

令和2年 第1回定例会 表決結果

議案・陳情	議員氏名（議席順）	飯山直樹	中村和雄	伊藤航平	山田由美	石岡実成	金崎ひさ	鈴木道子	荒井直彦	笠原俊一	土佐洋子	窪田美樹	近藤昇一	待寺真司	伊東圭介	結果	関連記事
議案第44号	令和元年度葉山町一般会計補正予算(第6号) (上/修正案 下/原案)	○	○討論	×討論	○討論	×	○討論	×討論	×	×討論	×	○討論	○	×討論	-	修正 否決	P8
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	-	可決
議案第48号	令和2年度葉山町一般会計予算	○	○討論	○	×討論	○	×討論	○討論	○	○	○討論	×討論	×	○討論	-	可決	P10
議案第49号	令和2年度葉山町国民健康保険特別会計予算	○	○討論	○	○討論	○	○討論	○討論	○	○	○討論	○討論	○	○討論	-	可決	P10
議案第50号	令和2年度葉山町後期高齢者医療特別会計予算	○	○討論	○	○討論	○	○討論	○討論	○	○	○討論	×討論	×	○討論	-	可決	P10
議案第51号	令和2年度葉山町介護保険特別会計予算	○	○討論	○	○討論	○	○討論	○討論	○	○	○討論	○討論	○	○討論	-	可決	P10
議案第52号	令和2年度葉山町下水道事業会計予算	○	○討論	○	×討論	○	○討論	○討論	○	○	○討論	○討論	○	○討論	-	可決	P10
議会議案第2-1号	議案第44号令和元年度葉山町一般会計補正予算(第6号)に対する附帯決議	○	○	×	○	×	×討論	×	×	×	×	○討論	◎	×討論	-	否決	P9

○は賛成 ×は反対 ◎は提案者
※議長に表決権はありません。可否同数のときのみ議長が決めます。

全会一致の議案等		結果	関連記事
議案第45号	令和元年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	-
議案第46号	令和元年度葉山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決	-
議案第47号	令和元年度葉山町介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	-
議案第53号	葉山町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可決	-
議案第54号	葉山町職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例	可決	-
議案第55号	葉山町教育研究所設置条例の一部を改正する条例	撤回許可	-
議案第56号	葉山町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	可決	-
議案第57号	葉山町災害復旧援助資金の貸付けに関する条例の一部を改正する条例	可決	-
議案第58号	葉山町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	-
議案第59号	葉山町消防団条例の一部を改正する条例	可決	P9
議案第60号	人権擁護委員の推薦について	可決	-
議案第61号	令和元年度葉山町一般会計補正予算(第7号)	可決	P10
議案第62号	葉山町教育研究所設置条例の一部を改正する条例	可決	-
議案第63号	和解及び損害賠償の額を定めることについて	可決	-
議案第64号	副町長の選任について	同意	P10
議会議案第2-2号	中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書	可決	P22
陳情第2-1号	日本政府に習近平主席の国賓来日の撤回を求める意見書提出に関する陳情書	不採択	P11

今回は、12人の議員がそれぞれの想いで挑みました!!



質問

各議員の枠内右下にあるQRコードを読み取りますと
議会本会議での一般質問の動画を観ることが出来ます。
また、過去に遡った質問動画もご覧いただけます。



葉山町議会



町長
一定は必要だろう

町民が気軽に
使える場の提供は

伊藤航平



町民活動の活性化支援

問 町民が気軽に使い、印刷機やパソコンもある、夜まで使える市民活動の拠点で、情報共有発信が活発に行われている逗子市や、横須賀市・神奈川県にあるような活動サポートセンターが必要ではないか。

町長 一定は必要だろう。身の丈に合った場所は今現状少ない。

教育・施設課題

問 小学校の最適な1クラスの人数は。

教育長 何人ということとは考えたことはない。少ないほど良いだろうと思っている。

総務部長
町内会、学校の協力を

防災メールの
登録推進は

山田由美



防災体制

問 防災メールの登録推進は。

部長 町内会へは声かけを行う。何らかの形で、学校の協力も頂きたい。

生ごみ分別収集

問 生ごみの自家処理を拡大する方策は。

部長 週1回の生ごみ分別収集実験を始めることで、自家処理の効果が見えると思う。

問 生ごみをプラスチック系の袋で回収するのは、環境負荷が大きいです。バケツ等の利用は。

部長 樽方式の例もあるが、まだ研究課題だ。

町長・教育委員会部局とのガチンコ勝負!!

町政を問う



一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。1人あたりの持ち時間は答弁を含め60分です。

掲載している内容は、質問者自身が原稿作成をし広報常任委員会が編集校正したものです。全文は、議会ホームページのほか、議会事務局でもご覧頂けます。

一般



廃校の再活用施設（東松島市）

問 1クラスの人数が少ない、1学年1クラスの小学校で起きる社会性やコミュニケーション不足、他者を尊重する経験を積みにくいなどの課題に直面している認識はあるか。

教育長 単級学校の場合、幾つかの課題がある。小中一貫教育を考えると、問題をどうサポートするか視野に入れていく。

問 中学校の部活動で、団体種目のチームが組めない状況を把握しているか。

部長 過去に南郷中サッカー部は、逗子中か久木中と合同チームを組んでいた。

問 今後、人口減少により公共施設、学校の統廃合が課題になっていくが、町長、教育長の葉山町の方向性は。

町長 葉山小学校と上山口小学校は、今後の葉山町の活性化上重要な拠点になっていく。

教育長 学校のあり方、施設整備面を合理的に、子どもたちにとって良いものになりたい。



防災メールの画面

問 水が汲める場所をネット検索できる、リフィルジャパンという民間プロジェクトがある。町の施設も、給水マップに登録しては。

部長 登録に向けて準備中だ。

中学校の制限

問 女子にもズボン、男子にもスカートの選択肢を用意するべきではないか。

部長 性別に関係なく、入学時に選択できる。

幼児の視力検査

問 幼児の目の異常を早期発見するため、SVSという検査装置を導入してはどうか。

部長 医師会と連携し、研究したい。

稼ぐ行政

問 遺贈寄附制度が始まるのは素晴らしい。土地や家屋の寄附も受け入れ、道路拡幅や防災倉庫の置き場、小公園等に活用しては。

部長 管理費も発生するので、計画性が必要だ。将来に向かって検討していく時期と思う。

各部での
対応は

笠原俊一

教育部長
子どもを連れての出勤は
5人いる

新型コロナウイルスの各部対応

問 新型コロナウイルスの当町職員の健康管理
理や、来庁者への対応や要望はあるか。

部長 手洗い・うがいの徹底、マスク着用な
どの習慣化の庁内通知をした。来庁者用の掲
示張り紙で周知している。また、3月2日か
ら混雑時を避ける時差出勤や特別休暇など施
行。3月中はこの措置を継続する。

部長 毎朝ミーティングでマスクの励行など
健康管理を促している。

消防長 町民要望や問い合わせはまだない。

部長 図書館やしおさい公園博物館、南郷上

ドギーバッグを
勧めては

土佐洋子

環境部長
前向きに研究したい

環境に配慮した取り組み

問 飲食店での食べ残しを減らすため、お持
ち帰りのためのドギーバッグを推進しては。

部長 食品ロスの話題が広がる可能性がある。
前向きに事例を研究したい。

問 4月からレジ袋有料化の試行が始まり、
ごみを出すためにレジ袋を使うとすると、実
質的にごみ収集が有料にならないか。

部長 理論構成上、袋は結局有料となる。ご
みの排出には、袋を用意するのがルールだ。

問 町の給水スポットへの登録は。

部長 現在申し込みの準備中である。

新型コロナウイルス
対策で
マスク備蓄は

鈴木道子

町長
備蓄はないが、検討を進める

新型コロナウイルス対策

問 マスクの備蓄と、今後の対応策はどうか。

町長 感染症や災害時の備蓄はないが、全国
的な品薄状態の状況を踏まえ、検討を進める。

問 一斉休校による学校給食の対処はどうか。

教育長 行政が費用負担する方向だ。

問 情報弱者への対応はどうか。

町長 ホームページや広報はやま、回覧・広
報板、啓発ポスターの掲示等で発信に努める。

防災対策

問 液体ミルクは薬局と協定を結ぶと共に、
備蓄し、ローリングストックすべきだが。





渋滞する長柄旧道

ノ山公園への要望はまだないが、本の返却時消毒は評判が良い。また、教職員の子どもを連れての出勤は5人いる。

部長 当町各団体で具体的数字はないが、飲食店の客足や市場での取引減少、逆にスーパーマーケット等の食料品の販売が伸びている状況報告はある。

部長 今後の町財政は非常に心配だ。財政補填に対する国の動向等注視し、各助成制度等も広報していく。

交通問題

問 長柄地域の渋滞や川久保交差点周辺の安全対策は。

部長 歩行者や自転車等の安全性確保は今回初耳だが、右折の問題解決に、警察や公安委員会と調整する。

参事 交差点改良工事から十数年経過したが、用地交渉に努め改良工事をしたい。

葉山の魅力を発信

問 遺贈寄附の事業に期待している。いつから実施できるのか。

部長 6月ぐらいから運用したい。

問 京急バスの平日と休日の便のバランスが適当ではない。バスが増便し過ぎていて、車がすれ違えない状態のときもあるが。

部長 路線バスの交通環境を整えたい。混雑で乗れない人がいないように、京急バスに要望活動していく。

安全で安心なまちづくり

問 移し替え不要な液体ミルクが発売された。ぜひ防災資機材に加えられないか。

部長 商品の開発状況を見ながら、一部の粉ミルクから液体ミルクへの入れ替えを、具体的に検討する。

問 マスクの備蓄が必要ではないか。

部長 必要と考え検討を始めている。

米国では当たり前！
食べきれなかったらお持ち帰りする食文化

ドギーバッグって？



ドギーバッグ 環境省HPより

部長 具体的に、防災安全課で検討していく。

子育て支援策

問 出生数減少の状況等に鑑み、多子世帯への学校給食費の助成を提案するがどうか。

教育長 給食センター稼働時に合わせ、部分補助等の検討が可能と考える。

問 愛川町等では、小児インフルエンザ予防接種補助を実施。当町も実施すべきでは。

町長 財政負担を視野に入れ、先行自治体や医師会の意見を参考に検討する。

福祉文化会館利用申し込み

問 インターネットでの申し込み方法にすぎたがどうか。

交通渋滞解消

町長 アンケートの結果、現在の方式を望む声が多数であり、この方法を続けている。

問 建築工事等による渋滞対策をすべきだが。

部長 建築指導の関連で指導する。



手づくりマスク

新型コロナウイルス対策は

近藤昇一



町長
有効な施策を検討する

新型コロナウイルス対策

問 日本共産党議員団は町長に新型コロナウイルス対策について、7項目の申し入れを行った。そこで、未曾有の危機から町民の健康と生活を守るため、大胆な施策が必要と考えるが町長の考えを伺う。

町長 予測できない動向もある。情報収集してできることは検討したい。

問 町民の間では、すでに経済危機に直面している。この際、町民支援のさまざまな施策を拡充すべきではないか。

町長 どのような施策が有効か検討する。

生ごみ堆肥化の実証実験は問題が多すぎる

中村和雄



環境部長
町民の理解を得ながら進めていきたい

生ごみ堆肥化の実証実験

問 現在、週2回の燃やすごみの収集が、実証実験では2回のうち1回は生ごみだけ、1回は生ごみを除く燃やすごみになる。生ごみを1週間保管させるのは、衛生上問題だが。

部長 7日間、町民に衛生的に保管してもらう手法を考えねばと思っています。

問 分別のための負担の大きさや衛生上の問題など、提案されている実証実験の構想は、無理が多すぎると思うが。

部長 町民の理解をいただきながら進めていきたい。

ギガ
GIGA
スクール構想への対応は

待寺真司



教育長
ICT環境整備計画策定を進める

学校教育環境の充実

問 GIGAスクール構想への対応は。

教育長 児童生徒向けの1人1台端末は令和5年度まで、学校の無線LAN環境は令和2年度までに整備すると、国から財政補助が受けられる。県内大半の市町村が、この補助事業を活用し整備する予定だ。中長期を見据えた葉山町のICT環境整備計画の策定を早急に進め、財政状況や公共施設の保有保全の方針を踏まえて、検討を図っていく。

問 スクールロイヤールの活用を図っては。

教育長 文部科学省では各都道府県の教育事

消防団の充実強化

問 2019年12月に消防庁長官から「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に向けた重点取組事項について」との助言が発出されている。そこでは「処遇の改善」として「適切な額の年額報酬や出動手当を地方交付税単価、年額報酬3万6千5百円を踏まえ、引き上げること」となっているが、葉山町の団員は3万2千円しか払われている。引き上げるべきではないか。

町長 国の基準は参考として考える。

まちづくり条例の見直し

問 逗子市の条例では「公聴会」の終了後、市長が「報告書」を提出する。葉山の条例には何もない。見直すべきではないか。

町長 制度より実態をとりたいたい。



厚生労働省作成のチラシ

行政のあり方と心構え

問 学校給食センターの建設予定地が二転三転した。上山口小学校を候補地としたいきさつだが、教育委員会の会議録によれば「候補地を上山口という形で一旦説明したい」と曖昧に説明している。行政は、町全体を見渡して、ここが最適地だと判断できる立場にある。町民の反対が想定される提案をする以上、周到に検討準備し、最善の案を提案する責任がある。反対されてすぐ引つ込めるような案は、はじめから出すべきではない。議案の撤回や訂正も多い。議員になって10カ月、事前の調査・検討、覚悟と信念が足りないと感じている。こんな感じで他の事業もやっているのか。

町長 貫き通すか譲るか、100%ではないため、意見を聞く過程が大事だ。



生ごみ堆肥化施設予定地

務所に1人、政令指定都市に2〜3人の約300人の配置を総務省に求めている。神奈川県は検討していない。配置されれば問題が生じる前の対処や事態悪化を未然に防ぐことが期待できる。町も、すでに導入している自治体の動向を注視し研究を進めていきたい。

問 町部局と学校の法務を兼ねて、町全体として、1人の弁護士を常勤で雇っては。

町長 必要性は認識しているが、専業では難しい。過度な要求とか法律で全て解決する事案も多くはない。現行の依頼型で踏ん張る。

安全まちづくり条例

問 行幸道路の国道134号線沿いの、危険な樹木の伐採や不法看板の撤去を求めるが。

部長 看板については、まちづくり条例の規則改正で「行幸道路に適した色彩を」と明文化し指導を徹底する。樹木については気付き次第声がけと、県にパトロールを依頼する。



学校のIT教室

避難行動要支援への
個別計画を

窪田美樹



町長
研修からすすめる

問 災害時弱者への情報発信と、対応として避難行動要支援の個別計画策定が必要で、ケアマネジャー等が本人の様子を把握している。報酬を支払い、計画策定の協力を求めている。
町長 災害時どのように支援していけるか研修から進め、支援側にも情報を投げかけたい。

ふれあいごみ収集

問 2年度から交付税措置されるが、分別は難しいとの声もある。事業内容拡充の考えは。

部長 福祉課と連携を保ち、研究が必要だ。

学校施設内での学童クラブ

問 何年も要望してきたが実現しなかったが。

「学校給食センター」
住民説明会の開催は

石岡実成



町長
要望があればいつでも
開催するつもりだ

問 現在の給食センター事業計画では、多目的化、多機能化を検討しているか。

部長 水準要求書を作る中で、省資源化や防災面で有用性、見学コーナーや多目的スペースに配慮した要求をしていく。

問 学校給食センターの住民説明会は。

町長 説明は尽くすべきだと思う。要望があればいつでも開催するつもりだ。

問 PFI手法の導入など、経営方法に関して再検討するという流れは。

部長 直営で進めているので考えていない。

学校給食センター

渋滞緩和対策は

荒井直彦



町長
県知事に要望を行っている

問 渋滞緩和対策につながる逗葉新道無料化と北側トンネル開通はどちらが優先か。

町長 首長懇談会においても神奈川県知事に直接、要望を行っている。一つのパッケージとして北側トンネル開通を目指し、連動して無料化に繋がると考えている。

問 HAYAMA STATIONに第2駐車場が必要では。

町長 駐車場としての広さを持った土地の確保が大きな課題であると思っている。

問 県の資材置場になつているところが利用

南郷地区の将来像

部長 学校の了解もあり、今後葉山で進めていく児童クラブは、学校内で進める方針だ。

学校給食センターの進め方

問 給食センターの進め方には納得できない。16億円もの予算がかかる事業であり、関係者だけが知っていれば良いというものではない。土砂災害特別警戒区域への建設に関し、安全面に不安は拭えないものもあり、PTAも含め、町民への周知が足りないのでは。

町長 現時点で、公約に給食センターとあげているので基本的には伝わっていると考える。

問 中学校給食に関し何度も計画変更があった。親子方式を含め立ち返って計画変更を提案したが、センター化は決定しているというもので、理由にコストメリットもあげていた。メリットが出れば、給食費補助等はあるのか。

教育長 ランニングコストなど、一定程度の軽減が確立できれば検討に値する。

記入例

葉山町避難行動要支援者登録

新規
変更
抹消

様式1(表) 申請書

平成24年 2月 1日

葉山町長 殿

私は、避難行動要支援者避難支援プランの趣旨に賛同し、避難行動要支援者リストに登録されることを希望するとともに、ここに記載した内容を、葉山町、町内会・自治会(自主防災組織)、民生委員・児童委員、消防機関へ提供することに同意します。

氏名		役場 太郎	性別	男	電話番号	876-1111
生年月日	(明・大・節・平)	11年	1月	1日		
住所	葉山町 区内2-1-35					
加入している町内会・自治会名	役場自治会					
支援が必要な理由	<input checked="" type="checkbox"/> ひとり暮らし高齢者 <input checked="" type="checkbox"/> 身体障害者(1級・2級) <input type="checkbox"/> 知的障害者 <input type="checkbox"/> 要介護者(3・4・5) <input type="checkbox"/> 精神障害者 <input type="checkbox"/> その他()					
同居家族の人数	(本人を除いて) 0人					

避難行動要支援者登録申請書



給食センター建設予定地

幼稚園類似施設への町の取り組み

問 幼保無償化の影響で、経営が難しくなっている認可外幼稚園を、保育の必要性の有無に関わらず、葉山独自の制度で救済するという展開にはならないのか。

部長 就園奨励費の継続など、現在、他の自治体の動向も調査している。今後は、社会情勢をしっかりとみて、引き続き何ができるのか検討を重ねていきたい。

観光施策

問 先ずは、ホームページでの「観光」の取り扱いを改善すべきでは。

部長 掲載情報を統一し、操作性や見易さ、分かり易さを含め改善していく。

問 観光協会の在り方について、町長自ら指揮をとってもいいのでは。

町長 組織の作り方を共に考え、覚悟を持ってしっかり議論をしていきたい。



歩道のない南郷上ノ山公園入口

の価値があるので。

参事 そのスペースを利用する場合は安全に人が行き来できない問題がある。県道311号線に移管されて、県と町が協議すべきところが、置き去りにされたままである。

問 今後の県との協議は。

参事 第2駐車場を整備することで渋滞の解消にも繋がると思っているのですが、継続的に県と協議をしていく。

南郷上ノ山公園

問 南郷上ノ山公園の第2駐車場から車道に出ないと公園には行けない。歩道の整備が必要では。

部長 今の提案については、都市公園の会議体を設けて検討していく。



公共施設再配置の 町民参画は

金崎ひさ

町長 継続的に意見を伺う

みんなの公共施設未来プロジェクト

問 今後の進め方は。

部長 まずは行政内のファシリテーターマネジ
メント（FM）会議で話し合う。

問 町民参画についてのスケジュールは。

町長 令和2年度にタウンミーティングを行
い、保全・保有の方針をまとめ、さらに3年
度に、その方針についての意見を伺う。

問 第2次劣化診断はどうするのか。

部長 公共施設の稼働状況などを踏まえ、方
針が出た後、必要な施設の診断をする。

問 福祉的施設「葉山はばたき」は民間移管



意見書を 提出しました!!

中高年のひきこもりに対する 実効性ある支援と対策を 求める意見書

国が中高年層を対象に実施した
全国規模の調査が公表され、40歳
から64歳のひきこもりが全国で約61
万人にのぼると推計が出された。

ひきこもり期間の長期化や高齢化
により、社会的に孤立するケースも
少なくない。

国においては、中高年のひきこも
りは、個々人やその家族だけの問題
ではなく、社会全体で受け止めるべ
き大変重要な課題と捉え、早急にこ
れらの問題に取り組むことを強く要望
する。

地方自治法第99条の規定により、国また
は関係行政庁へ送付しました。

※紙面の都合上要約しています。

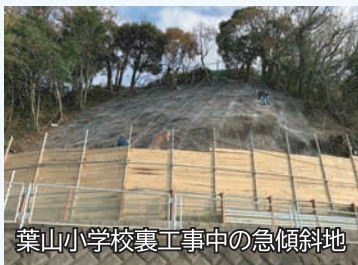
町長行政報告

2月13日

逗子市で発生した斜面崩落事故を受けた
町の対応について

土砂災害警戒区域
のうち通学路を中心
に、石積み上部の斜
面の緊急点検、危険
箇所の把握を進めま
した。

今後は、土砂災害
の危険性の周知、情報
発信に努めていきます。



葉山小学校裏工事中の急傾斜地

「下山口における風致地区内行為許可処分
を取り消すことを求めた」訴訟について

横浜地方裁判所は原告の訴えを却下しまし
た。期限までに原告からの控訴はなく、訴訟
はこれで終結となります。

新型コロナウイルスへの対応について

2月19日

「葉山町新型コロナウイルス感染症警戒本
部」を設置し、庁内関係、近隣自治体、医療
機関との連携強化を図り、感染拡大の防止に
取り組み、情報発信にも努めていきます。

3月13日

「葉山町新型コロナウイルス感染症対策本
部」に名称変更し、感染拡大の防止策として、
公共施設の閉館措置やイベントの中止、役場
職員の職場環境にも配慮。来庁者には手指の
消毒などの協力を
お願いしています。

小中学校を休校
とし、学童保育の
時間延長や家庭開
放による子どもた
ちの居場所確保を
図っています。



をすとの方針を示すのか。

町長 2年度策定の障害者福祉計画に書き込めるよう協議をまとめていきたい。

問 今後の財政出動について伺う。

部長 給食センターは16億1千万円、クリーンセンターに12億円、公共下水道に37億円だ。

町立小・中学校

問 町立小・中学校の統廃合については。

教育長 小中一貫校を検討している。

町長 将来少子化が進み、統廃合となると、葉山小学校と上山口小学校の建物は保持していく方向で教育委員会には考えてもらいたい。

問 新型コロナウイルス対策として休校中の校庭を開放したが、高校生は利用できないのか。

部長 トラブルを避け、小・中学生のみとした。学校ホームページの充実を望む。保護者等からの問い合わせを可能にしてはいかかがか。

教育長 双方向型は難題だが、努力したい。



みんなで考える公共施設再配置

議員懇談会

町長招集により開催

〔2月4日〕

- ・令和2年度当初予算案の概要について
- ・平成30年度決算審査における議会からの政策提言に係る対応について
- ・公共施設劣化状況調査の報告及び今後の進め方について

- ・学校給食センターについて
- ・クリーンセンター再整備事業に係る債務負担行為について

〔3月3日〕

- ・葉山保育園入所児童の転倒事故事案に係る示談交渉の経過について

〔3月13日〕

- ・新型コロナウイルス感染症に関する報告について



説明を受けた資料

記 議長 伊東圭介

議員全員協議会

議長招集により開催

『新型コロナウイルス感染症対応について』

2月28日、文科科学省から各道府県に通知が出され、神奈川県教育委員会から当面の対応についての方針が示されました。

葉山町としても、国や県の方針を踏まえ、3月3日から3月25日までの期間、すべての町立小中学校を臨時休校とすることが報告され、以下の対応について説明を受けました。

- ・休校期間中の学習について
- ・教育課程について
- ・卒業式について
- ・修了式について
- ・部活動について
- ・日常の対応について
- ・発熱等の風邪の症状がみられた場合の対応
- ・校庭利用について
- ・その他公共施設の対応について



国内外での感染者数の推移をみる限り、更なる長期的な対応が必要になることが予測されることから、役場業務の継続性の確保、各部署の連携と情報共有を密にし、先を見据えた対応を取るよう努めていきます。

記 議長 伊東圭介

表紙説明

4月7日に出された「緊急事態宣言」発令後も、いまだに収束の目処が立たないどころか、週末になると葉山町内を含め近隣の道路は他県ナンバーの車で渋滞しています。これでは、どんなに私たち町民が不要不急の外出を自粛したとしても意味がありませんし、事態の改善は望めません。

こうした流れに鑑み、議会からも、一人でも多くのみなさまにメッセージを発信し、自粛につながる**キツカケ**になればという想いからこの表紙をデザインしました。

外出自粛の要請は、最低でもゴールデンウィーク終了まで続きますし、現時点での感染拡大の状況をみれば、更に長期化する事も容易に想像が付きます。事態の終息を加速させるために



入学式がなくなり記念撮影する親子

人事異動

新議会事務局局長補佐



山崎 大輔 (前クリーンセンター主任) 山本 寛子 (前環境課課長補佐)

新総務課主任 併議会事務局主任



永井 秀子 (定年退職) お世話になりました。

前議会事務局局長補佐

も「ステイ・アット・ホーム」を合言葉に、この難局を**チカラ**を合せて乗り切りましょう。全ての町民のみなさまが、何事もなくお元気で、ご健康でありますように。

葉山町議会議員一同

次回定例会は...

6/3-6/19 の予定です。

議案審議	一般質問	各常任委員会
6/3(水)	6/3(水)	6/8(月)
6/18(木)	6/4(木)	6/9(火)
	6/5(金)	6/10(水)
		6/12(金)
総合計画特別委員会		
6/11(木)		

定例会のスケジュールは変更になる可能性があります。また、一般質問は、質問者数によって日程が変動します。詳しくは議会ホームページにてご確認ください。



※新型コロナウイルス感染症対策として、本会議場及び委員会室での傍聴を自粛させて頂く可能性があります。ご理解ご協力をお願いします。

議会本会議のライブ中継が、スマートフォン、タブレットでも視聴できるようになりました!!

議会本会議のライブ映像・録画動画が、いつでも、どこでも見られるようになりました。この機会に、是非、一度ご覧になってください。



録音版議会だより

議会だよりは音声データを作成しています。ご希望の方は議会事務局までご連絡ください。

議会の最新情報は…ホームページをご覧ください!! <https://www.town.hayama.lg.jp/gikai/>

編集後記

新たな議会が誕生して、4度目の議会だよりの編集です。新型コロナウイルスの影響が及ぶ中でしたが、令和2年第1回定例会も無事に終えることができました。期間中は、このまま定例会を続けるべきかという議論を何度も重ねてきましたが、新年度予算が伴う大切な議会であるという意見でまとまり、難しい判断に迫られた定例会となりました。

新型コロナウイルス対応に携わっている医療従事者をはじめ、関係各所の方々から敬意を表し、早期に収束する事を切に願います。

また、延期された東京オリンピック・パラリンピックが、来年の夏には盛大に開催され、小中学生に配布予定だったオリンピック観戦チケットが無事に使用され、子どもたちの笑顔がふれることを祈願します。

4月8日 荒井 直彦 記

議長 伊東 圭介 議会広報常任委員会

石岡 実成 伊藤 航平
中村 和雄 荒井 直彦
笠原 俊一 土佐 洋子
窪田 美樹